



HOSEI
University
よき師 よき友 つどい結べり

法政大学 経営学部同窓会報

www.houseikeieidousoukai.com/

2

Vol.

(通巻 15 号)

発行 法政大学経営学部同窓会

発行人 岩井 昭(会長)

編集人 中西 文行(広報担当)

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
ポアソナード・タワー17階経営学部資料室
TEL/FAX. 03-5382-9344

神谷常務理事

岩井会長対談



岩 神谷先生本日はお忙しいところ、ご対談のお時間を頂きありがとうございます。

神谷常務理事・経営学部教授に、法政大学の現状と今後、さらに法政スポーツの現状と今後についてお話を伺いたいと思います。

まずは法政スポーツから、何か面白い話題はございますか。

神 ありがたいですね(笑)。法政大学は2つの部を「最重点強化部」として特別に支援するという体制をとっています。「野球部」と「陸上競技部」がそれに該当します。しかしその2つの部については、陸上の短距離を除いて最近あまり良い成績を残していないというのが現状です。ただ面白い話題として、富山商業から森田君という素晴らしいピッチャーがこの春経営学部に入学しました。この春のリーグ戦(2015年)では、いきなり初戦を勝利で飾りました。東京六大学野球春のリーグ戦では法政は2位になりました。

岩 現日ハムの斉藤佑樹投手以来、東京六大学野球で1年生初戦初勝利は3人目ですね。

神 そして本年(2015年)から監督が若い青木監督になりました。青木監督は第2合宿所に宿泊まりして、24時間部員の面倒を見ておられます。今年1月から合宿所の規律も厳しくなり、このような普段の生活指導によって、合宿所の雰囲気明らかに1年前と変わり、畔上主将に引継がれ選手の意識も高まっていると思います。今後の野球部に期待しております。

岩 私も今後の「野球部」に期待したいと思っています。ところで、1月に卒業生の皆さんが楽しみにしております駅伝ですが、如何でしょうか。

神 厳しいです。スカウティングに苦戦しています。高校選手にとって「駅伝でテレビに出られるかどうか」が判断基準になってしま

い、いったん弱くなってしまうと、法政が魅力ある大学に見えなくなってしまう。

岩 そろそろ予選会ですね。

神 10月17日です。予選会に皆さんが期待されておりますが、予選会が最終目標ではありません。なにが何でも1月2・3日の本戦です。選手が力を合わせて戦ってくれると信じています。

岩 神谷先生は以前からおっしゃっています。規律とか、生活面の指導が体育会の学生には大事であるということですが、陸上競技部駅伝はどうでしょうか。

神 坪田監督のもとで選手たちは頑張っています。一般的に法政のチームスポーツで弱くなってきたところは、日常生活が緩くなっていることが多いです。日常的な生活の面から、きちんと指導を行っていますと、成績も良くなってきましたので、極めて熱心な部長監督、コーチがついて指導をしているところは、好成績を残しているかと思っています。また卒業してから社会人として活躍する。競とか、マナーを1つの部で指導している部は、やはり1番強い部なのかなと思います。各部の組織文化は色々な意味で大事です。

岩 最後にアメリカンフットボール部は比較的安定した成績を残していると思いますが、如何でしょうか。

神 青木監督も素晴らしいですが、以前は柳沼先生、八重倉先生、現在は笠井先生等、経営学部の先生方が熱心に部長職を務めておら



れています。アメフト部の素晴らしいのは、日本一を目指して24時間緊張状態を保ってやっている。選手も、マネージャーも、トレーナーもみんな同じフィールドで鍛えられています。試合成績も素晴らしい結果を残しています。そして社会に出てからも活躍しています。礼儀正しいことや、この状況ではこういうことをしないといけないとか、徹底的に教えられていますので、やはりそれをずっと維持している部は競技成績も安定していると思います。

岩 次に田中優子先生が総長になられ神谷先生は常務理事として、法政大学の経営に関わられておられますが、法政大学の現状と今後について、ご説明をいただけますでしょうか。

神 田中総長になってから、大学全体の雰囲気が変わりました。田中先生は極めて自然体で、非常に愛校心のお強い方です。田中先生は社会学部長を経て総長になりましたが、状況認識が鋭いというか、「当然こういうことをしなきゃいけない」という問題提示をされます。「全部は実現できないですけど、大事な問題についてはとにかく考えて、手をつけていきましょう」というスタンスですので、理事会のメンバーや教職員も、「総長がそう言われるのであれば、動いてみようか」ということで、少しずつ色々なところで変化が生じてきていると思います。

岩 確かに大変立派なビジョンをお持ちになられました。「大学はこうあるべきだ」ということを非常に明確にされていると思いますし、外部に対しても非常に良い印象で迎えられていると思います。また、最近テレビでの露出を高めていただいています。

神 毎月1回、日曜朝の番組にご出演されるそうです。

岩 そうですか。それは楽しみです。そして田中先生はさらにビジョンを活性化して、将来に向かっての法政らしいコンセプトで邁進していこうという姿勢のようですが、この点については如何でしょうか。

神 現在「HOSEI2030」という創立150年に向けてのビジョンを策定しています。経営学的に言えば、15年先を見据えての長期計画です。法政大学は、昨年「SGU(スーパー・グローバル・ユニバーシティ)」に採択され、さらに留学生を増やすなど、国際化を強化していく方向にあります。当然、様々な国籍の学生が在籍する訳ですから、英語でしか話せない学生が法政大学に入学した場合に、すべての授業を英語で展開しないといけません。また法政の学生は今以上に、在学中



に海外にどんどん出て行き、色々な経験をしていくということが必要かと思っています。

岩 英語でビジネスを行うのが、当たり前になっていきますからね。

神 法政大学は15学部体制になり、支出の金額も多くなり、財務状況も厳しいものになってきました。東京のライバル校もだいたい同じです。健全な財政状況、財務状況にするために、しばらくは相当な経営努力をしなければいけません。これから生き残る大学というのは、優秀な学生を集めて、資金を大事に使う、快適な研究・教育できる学内状況を維持できる大学でしょう。そういう大学が学生にとっても教員にとっても魅力のある大学になるのではないのでしょうか。

岩 「スーパー・グローバル」の進行、財務体質の強化、そして良い学生の確保ということですね。「HOSEI2030」が将来実現することを望んで、あるいはお願いをしまして、対談を終わりたいと思います。本日はありがとうございました。

追記

2016年1月4日現在本会報掲載各部の成績結果は左記の通りです。

野球部…秋期リーグ戦第5位。

陸上競技部…箱根駅伝予選会を第7位で突破。箱根駅伝本戦では、総合第19位でシード権獲得ならず。

アメリカンフットボール部…関東大学リーグ戦第3位。甲子園ボール出場を逃す。

新任先生紹介

大木良子先生



4月に着任し、あたふたしながらも春学期を終え、少し落ち着いて秋学期を迎えることができました。眺めのいい高層オフィスビルのようなボアソナードタワーでの授業もあれば、多くの学生さんの往來の長きにわたる積み重ねを感じる58年館での授業もあり、そのギャップを楽しみ余裕も出てきました。

専門分野は産業組織論で、授業を担当しており、ゼミでも関連する本を扱っています。産業組織論は、経済学の分析ツールを使って、実際の企業の戦略や市場競争を説明しようと試みる、ミクロ経済学の応用分野の一つです。経営学部で、日々経営学の視点から企業や市場を分析する方法を学んでいる学生さんに、経済学の考え方を紹介することで、複眼的な視点でものごとをとらえる力を身に付けても



raitaitoと考えています。

簡単とはいえ計算をしたり、グラフを描いたりすることが求められることから、入り口を間違ってしまうと、最後まで経済学に苦手意識や嫌悪感を持ち続けてしまう学生が少なからずいます。この先の人生で経済学と縁がなくなってしまうようなことのないように、授業では実際の企業の事例や個人の意思決定を紹介しつつ、小説や映画を楽しむように、経済学を楽しんでもらえるよう心掛けています。

私自身が経済学に興味を持ったきっかけは、大学生の時に受講した必修のミクロ経済学の授業でした。ある日、左側通行のようなルールが社会で安定的に維持されているメカニズムが、ゲーム理論という一見すると無味乾燥な数式で説明されていました。経済学が社会の仕組みや人間の複雑な意思決定を整理し明快に説明してくれるというのは、遊ぶことに夢中でふわふわと大学生活を送っていた当時の私には大きな発見で、経済学って楽しいかもしれないと思い、その気持ちは今も続いています。幸運にも授業をする機会に恵まれた

現在、その楽しさまで伝えることは非常に難しいと痛感していますが、学生の皆さんと一緒にじっくりと取り組んでいきたいと思っています。

プロフィール

市場経営学科准教授 大木 良子
(オオキ リョウコ)
学位 博士(経済学)
東京大学2011/3
研究分野 競争政策の経済分析
研究テーマ 競争政策の経済分析
研究課題 流通オンライン化の経済分析と新しい競争政策。プラットフォーム型流通業者の垂直的取引契約に関する経済分析



二階堂行宣先生

今年で同窓会創設20周年を迎えられたとのこと、心よりお祝い申し上げます。2015年4月から経営学部に参加しました二階堂行宣と申します。以下、簡単ながら新任のご挨拶をいたします。

私は法政大学のお膝下、千代田区富士見で育ちました。幼い頃は大学周辺が何かと騒がしく、警察官もたくさん配置されておりまして、友人どうし「あそこは怖そうな場所だ」と噂し合ったものでした。今、その構内へと毎日通勤していることに、何かの縁を感じています。

大学・大学院では「日本経済史」を専攻し、明治から戦後までの国鉄のマネジメントについて



私が歴史を勉強してきて感じているのは、「長い目で見ること」の大切さです。過去を調べると、名もなき先人たちが汗や涙を流しながら、日々の課題に誠実に向き合う姿が見えてきます。たとえその時は失敗し、回り道と思われたようなことも、長い目で見れば大きな成功につながった事例は枚挙に遑がありません。日々学生と接していると、彼らが近視眼的な思考にとらわれ、成果主義に陥っているように感じることも多々あります。眼前の結果にとらわれず、心に余裕をもって物事を俯瞰的に見ることを意義を、自戒の意を込めつつ、少しでも伝えていきたいと思っています。未熟者ではございますが、伝統ある法政大学経営学部の一員として、精一杯仕事にあたる所存です。ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

プロフィール

経営戦略学科専任講師 二階堂 行宣
(ニカイドウ ユキノリ)
学位 博士(経済学)
東京大学2015/3
研究分野 経済史、経営史
研究課題 鉄道事業経営・運輸政策に関する歴史研究



法政大学経営学部同窓会 トップ・マネジメント・セミナー 2015 コンビニ業界・Web業界の第一線で活躍するOGにきくマーケティング

主催:法政大学経営学部同窓会 共催:法政大学経営学部学術ゼミナール委員会
後援:法政大学経営学部教授会 法政大学キャリアセンター 協賛:一般社団法人 法政大学校友会

経営学部同窓会 「トップマネジメント セミナー2015」開催

11月4日(水)の午後6時半からボアソナー
ドタワー26階のスカイホールで、経営学部同
窓会主催の「トップマネジメントセミナー
2015」を開催いたしました。

本セミナーは毎年秋の同窓会恒例行事と
なっており、本年は【共催】経営学部学術ゼ
ミナール委員会【後援】経営学部教授会及び
キャリアセンター【協賛】一般社団法人 法
政大学校友会での実施でした。

セミナーの講師には、株式会社ローソン
マーケティング統括本部 デジタルコミュニ
ケーションプロジェクトリーダー 白井明子
様をお迎えいたしました。今回の講師をお願
いするにあたっては、安倍内閣での重点施策
の「女性活躍」をキーワードにして人選を進
めた結果、本学卒業生の白井様をお願い致し
ましたところ快諾をいただきました。

演題は「コンビニ業界・Web業界の第一
線で活躍するOGに聞くマーケティング」で
した。

白井様は法政大学経済学部を1999年に
卒業、株式会社ローソンに入社され関西地区
のローソン店長を振り出しに現職までいくつ
もの部署をご経験されました。

その後2006年から法政大学大学院経営
学研究科に通われ、08年に経営学修士(MBA)
を取得されております。セミナー参加の学生



からすると年齢も近く、より実践的な話が聞
けるとの期待もあったと思います。また女性
講師ということで例年以上にセミナー参加者
に女子学生の姿が目立ちました。

開催にあたり、主催者の岩井会長、次いで
教授会から竹内学部長、学術ゼミナール委員
会の伊藤委員長、協賛を頂いた校友会から井
上副会長に、それぞれ挨拶をいただきました。

講演は白井様の自己紹介から始まりまし
た。今回の講演内容については特に在校生の
中でも就職活動をひかえている三年生を意識
されている講演でした。

Web業界といってもその中は幅広くて、
ヤフー、楽天などに就職したいと思ってもそ
の会社の中で何の仕事をするかにより全然違
う資質が求められることやご自身の社会人と
なっていくの浮き沈みについて詳しくお話を
いただきました。

特に「日経ウーマンオブザイヤー」を受賞
されるきっかけになった29歳の頃のエピソードを、就職活動を控えている在校生の為に
いたいただきました。

また、豊富な資料をご用意頂きその資料を
もとに、LINE、Facebookやツイッ
ターなどのソーシャルネットワーク(SNS)
の利用状況(東京や大阪など大都市圏での使
用頻度が高いこと)や、ユーザーバーなど
の新しい仕事、スマートフォンサイトのやア
プリなど、遠い未来の事だと思っていたら、
もうこんな身近な事になっているのだと驚き
の内容でした。

Web上で自社の商品をいかにヒット商品
に育てるかのマーケティング戦略については、
サントリーのレモンジーナのように突然売れ
出す商品を通じ、どのようにネットを通じて
売れる商品を生み出すのかをいくつかの具体
的事例を紹介いただき、最初はネット上での
ザワザワ(多くの書き込みなど)から巨額の
費用が必要なテレビ広告に波及するまでの過
程など興味深い内容でした。

筆者の表現力では講演内容の百分の一もお
伝えできません。
ネット上には白井様ご自身が色々なサイ
トで情報発信されておりますのでその中から「輝
く女性応援会議」オフィシャルブログから引
用させて頂きたいと思っております。

「あなたがいないければ生まれなかった『夢』
を企画してアウトプットしてください」

この一説を読んで、思わず手帳にメモし
たのを覚えています。

そして

自分が昔から好きだったものはなんだっ
け?

何の話をするとき目頭が熱くなるのだっ
け?

と、頭の中にあるアイデアを必死に書
き出しました。

この言葉に出会えたことが、わたしの人
生の転機になったと思います。

その後、生まれたのが「ローソングル
ー あきこちゃん」です。

もちろん今でも悩んだりモヤモヤするこ
ともありますが、

そんな時にはいつも「考具」を読みます。
アイディアが次々と湧いてきて、前向き
な気持ちになれます。

偶然手に取った本が、私を前向きにし
てくれました。

私の文章が、皆さんが少しでも前向きな
気持ちになるきっかけになれば、とて
も嬉しいです。

「講演後記」——株式会社ローソン 白井明子

トップ・マネジメントセミナーでの講演と
いう貴重な機会をいただき感謝申し上げます。

講演内容は学生から意見をいただき「コンビ
ニ業界・Web業界で働くOGから聞くマー
ケティング」になりました。今まで専門領域
のデジタルマーケティングについての話ばかり
でしたので、業界のことを広く説明する機
会がありません、自分が勉強しなおす良いき
っかけになりました(笑)。

過去の登壇者は皆様経営者の方だったと聞
いており、今年は私のような中間管理職の話

なので正直不安でした。いろいろ考えまし
たが、自分ができることとすれば、大学3年生
から30後半までどんなことが待ち構えてい
るのかについて、実体験をもとにお話するこ
とだと思い、講演資料を作成させていただきました。

中でも今年当社で最もヒットした商品「グ
リーンスムージー」のマーケティング事例に
ついての商品開発担当、マーケティングリサ
ーチ担当、コミュニケーション担当にイン
タビューを行いケーススタディのようにお伝え
できるようにしたつもりです。

マーケティングするために、実際に足
を動かすべきだというのが私の信念であり、
法政大学経営大学院(MBA)でも学んだこ
とでありました。そのため自分でも率先しよ
うと思って作成しました。

今後就職するのがメーカーであっても流通
との関わりはなんらかの形で出てくるので参
考になったのであればうれしいです。今後も
共に法政大学経営学部OGとの気概で本学部
を盛り上げていければと思います。

なお、このセミナーを受講した学生達から
は、「ローソンのグリーンスムージーを例に
商品の開発から販売、そして販売後のお話を
いただきマーケティングについての理解が深
まった(1年男子)」「コンビニ業界も注目し
ている様々な媒体について細かく、マーケ
ティングについてよく理解することができた(2
年男子)」「ITに関するマーケティングの仕
組みを知ることが出来てよかった(3年女子)」「
SWOT分析、4P分析等マーケティング分
析手法を多く挙
げ当てはめた具
体的内容を説明
して下さって良
かった(1年女
子)」「コンビ
ニ業界の奥が知
れました。白井
さんがやってき
たことが詳しく
わかって良かった
です(2年女子)」
など多くの感想
が寄せられた。



学部生広場



広報委員会

広報委員会では外部や内部の方々に向けてオープンキャンパスやゼミ紹介、OB・OGインタビューを行い、法政の魅力をFace bookで伝えています。

以下は経営学部同窓会の会員の松本弘さんのインタビュー記事です。

【経営学部（HBS）OB・OGインタビュー#5ソニー生命保険株式会社でライフプランナーの松本弘さん】

長嶋…経営学部同窓会にはどのようなきっかけで入会されたのでしょうか。

松本さん…1月恒例の「オール法政新年を祝う会」で、現経営学部同窓会の副会長を務める三海先輩に誘われたことがきっかけです。祝う方で座ったテーブルにいた方々が皆さん同窓会幹部の方でとても驚きました（笑）。皆さんとても気さくで優しい方々ばかりで「同窓会に入ってみない？」と言われた時、即決で入会を決めました。

長嶋…私も以前同窓会の幹部の方々にお会いした時、とても気さくで、私たち学生の話もしっかり聞いていただき、とて



もいい方ばかりだったと印象に残っています。同窓会に入ってみて何か変わったことはありませんか？

松本さん…「法政」の繋がりがつてすごいなと感じるようになりましたね。以前より増して法政大学のことが好きになりました。今までは「法政出身」と聞いてもフーンという感じがしたが、最近は強い縁（えん）を感じますね。（大部分を割愛させていたいただきました。ぜひFace bookのページをご覧ください。）

法政の良さを私たちの記事をきつかけとして知っていたら、非常にうれしいです。そのためにも今後活動に力を入れていきます。



学術ゼミナール委員会

学術ゼミナール委員会では現在、「講演会局」「入ゼミ局」「渉外局」の3つの局に分かれ、それぞれ違った特色を持った活動をしています。



「講演会局」では春学期・秋学期に最低1回ずつ、企業の方をお招きしての講演会を企画・運営しています。就活関連の講演が主ですが、基礎からESの書き方、身だしなみ講座など、その内容は多岐にわたり、その講演内容を自分たちで決めることが出来るのが醍醐味です。今年度は前期に、就活のスケジュール変更に焦点を当てた講演会を実施しました。

「入ゼミ局」は、経営学部学務と各ゼミを繋ぐパイプの役割を果たし、学務課から提供される各種情報を、Eメールや会議で各ゼミに伝えています。また、毎年秋口に行われる入ゼミ試験に先立って行われる、ゼミ説明会の準備・運営も行う、学術ゼミナール委員会の核とも言える活動をしています。

「渉外局」ではインター大会/インター大会と呼ばれる関東/全国規模のプレゼン・討論大会に運営要員として参加し、大会への協力



を行っていきます。その中で数々の他大学の学生と知り合う機会があり、いろいろな価値観を知ることが出来ます。

今年度は各局とも人不足でしたが、なんとか一年乗り越えることが出来ました。

12月に行われる二つの講演会で今年度の締めくくりとなりますが、有終の美を飾れるよう、全力を尽くしたいと考えます。

留学生

経営学部市場経営学科1年生ユムカン



2012年4月に私が中国から日本にきました。その時、大きな目標を立てているのではなく、単に好奇心の赴くままに、外国で留学生として体験したかったです。日本を選ぶ理由は、母が日本への好感度が高いからです。

空港に着いて、入国審査官に質問されました。日本語と聞いて、はじめて日本にいることを実感しました。静の中に、興奮とともに、目の前の人が何を話している全然わからないと意識しました。日本に来る前に、3か月間

日本語を習ったが、実際、何の役割もなかったです。本場の日本語と教科書の例文、ずいぶん違います。話よりジェスチャーで交流しました。

それから、日本で2年間日本語を勉強しました。会話力はそんなに大きく上げていなかったです。なぜなら、いつも話が間違ったのを怖くて、話す機会が少ないからです。これは言語を習う時、よく現れた問題ではないでしょうか。

自信がないから話さない、話さないから逆に自信もなかなか持たないです。正しい文法を把握することも重要ですし、自分が知っている限りできるだけ細かく伝わるのが一番だと思います。

次の悩みは、何の学部を選べばいいのか、学部ごとの志望理由何を書けばいいのかです。ある日、買い物をする時、不意にいいデザインの歯ブラシスタンドを見つかりました。草色のセラミック製品で清潔感がありながら便利です。そんなに小さいものでも配慮したのを感動しました。顧客のニーズを十分考えてと美と実用性兼備の商品を作るのが素晴らしいと思って、経営特に市場経営に興味がありました。ですから法政大学の経営学部に入りました。

一年生はまだ専門科目が少ないですけども、十分の難しさを感じました。想像のようになんでも面白い、すぐに分かるのではなく、漠然の状態からだんだん知識を蓄えるというプロセスと感じています。日本語を習うと同じように、できるだけ自分の力で授業中を理解して再現するのが大切だと思います。

大きな目標を立てなくても、現実をもとに整したり努力したりしているのは私の留学生活です。

留学は決して簡単ではないものです。だからこそ、もし勇気を出して試したら、今まで断然異なる新しい世界が見えます。



ゼミの紹介

seminar introduction

鈴木ゼミの紹介

鈴木武

(担当科目…基礎統計学、計量経営分析)

法政大学に赴任したのは1976年で、今年で40年目を迎え、2016年3月で定年退職になります。この間、統計学の講義を担当してきました。統計学というと確率や数式を使った学問というイメージですが、英語では統計学をstatisticsと言ひ、「状態」を意味するラテン語から派生したものです。英語のstateから分かるように、そのラテン語が国家や国土を意味するようになりました。したがって、人口や生産物など国の状態を記述する学問として統計学は出発したのです。それとは別に偶然を記述する確率論が成立し、それと結びつき現在の数理統計学ができあがりました。

統計学の柱の一つに大数法則があります。ある現象を観測し、その分布の平均値を計算します。観測数によって平均値は変化しますが、観測数を増加していくと、平均値は一定の値に近づいていくことが言えます。大量に観察すると規則性が見えると言ってもよいでしょう。戦前の日本の統計学では、これを「大量」と表現し、社会的な存在と考えていました。したがって、統計学は社会科学という位置づけでした。

法政大学に赴任したときの条件として、担当科目では確率や推定・検定という数理統計学を教えてほしいということでした。初等的な統計学では、記述統計と推測統計を教えるのが標準です。文科系の学生には、平均・分散という分布を表現する基本的な数字のほか、統計調査の実態や国の統計制度を話すのがよいと思いますが、どうしても確率・推定・検定という方に重点がいってしまいます。この点が多くくの学生には敬遠されることになりました。したがって、ゼミ生にも統計学をあまり強調しないでやってきました。

ゼミでは、統計的手法を基礎にして興味ある現象を分析するという方針をとっています。

するとゼミ生は競馬や株、あるいはパチンコやギャンブルという話題を出します。しかし、これらを統計的に分析することはかなり困難です。もし法則性が見つかれば、それに従って掛け金を積めば、いずれは大金が入ってくることになります。そんなことはあり得ません。特殊な情報をつかんだ人は儲かるかもしれませんが、学問的に普遍性はありません。

ゼミでのテーマは、主に経済現象を対象に毎年変えてきました。一時期は需要関数の推定というテーマで、バナナの需要関数を手始めに、野菜、肉、魚、バナナなどの産業を調べてみました。ある時期は、私が興味を持っていく都市をテーマにしました。たとえば、どの程度の人口があれば、その都市で匿名性が保たれるかを調べました。端的に言えば、街中にあるラブホテルに歩いて入れる都市の人口は何万人以上かということです。タウンペー

ジから全国で約5千のラブホテルの住所を手し、地図上にプロットしデータを作成して回帰分析をしました。ゼミ生が行った結果は15万人以上ですが、この分析手法は間違っていました。私の試算では約50万人以上です。別の年度には北海道の都市を分析したり、あるいは、デイズニールンドのようなテーマパークを全国のホームページから探しだし、その特徴を分類してみました。

最近数年間は、株をテーマにしてみました。日経ニーズから上場全社について財務データを収集し、株価を説明しようとしていました。結果はうまくいきませんでした。1億円を儲けようというテーマでしたが、結論はインデックス運用を主体にした堅実な投資をすることです。30年以上の長期間でみれば、過去の株価全体の実質成長率は年率7%弱です。実質成長率の分散も長期間になるほど小さくなるので、確実に儲かります。

金ゼミの紹介

金容度

(担当科目…日本経営論)

私は2002年4月に法政大学経営学部に着任しまして、その約2ヶ月前に急逝された故橋本寿朗先生のゼミを受け継ぐ形でゼミ担当を始めました。

私が学部で担当する講義は日本経営論ですが、毎週のゼミ授業では、日本企業だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ、韓国、中国、台湾などの企業事例を取上げ、ゼミ生が出した論点に基づいてディスカッションを行っています。例えば、各社の成長の歴史・現状に現われる特徴は何か、成長要因と強さの原因は何か、また、今直面している、あるいは近い将来に直面すると予想される課題は何か、それに対応してどのような戦略が必要なのかなどについて、ゼミ生と対話しながら、議論を深めます。また、授業から何を学んだかについてのレポートを毎週ゼミ生に提出してもらいます。年1回〜2回は、企業で働く方をゲストスピーカーとしてお招きして、話を聞いた上で質疑応答を行う機会も設けています。

夏と春の年2回の合宿では、日本の同業企業間の比較、日本企業と海外企業間の比較を内容とするグループ報告を行ったうえでディスカッションをしています。4年生には、卒業論文を書いてもらっていますが、提出された卒業論文をデジタルファイルにして、ゼミ後輩達が読めるようにしています。

最初の数年間(2003年〜2007年)には毎年の2月か3月の数日間、ゼミ生と一緒に韓国を訪問して、サムスン電子など韓国の大手企業やその工場を見学したり、産業・歴史遺跡地や韓国の文化を紹介する施設を見学したりしました。

私がハーバード大学の客員研究員としてアメリカボストンに滞在した、2009年4月〜2011年3月の2年間を除く、ゼミOB会も毎年欠かさず行っています。ゼミの卒業生は、金融機関、製造メーカー、サービス業、

通信企業、流通企業、化粧品企業、衣類・ファッション企業、マスコミ、公的機関、など多様な分野で活躍しています。少数ではありますが、自ら創業した企業家も輩出しています。OB会は、こうした多様な分野のゼミOBが現役生の社会進出についてアドバイスを行う場にもなっています。

私は、2007年より法政大学体育会少林寺拳法部の部長も務めています。同部の現役部員間、OB間、OBと現役部員間の仲間意識の良さを強く感じています。私のゼミの現役生やOBも同じような仲間意識をもち続けながら、お互い成長していく好循環をつくることを心がけています。



岸ゼミの紹介

岸真理子

(担当科目…経営情報論)

私は大学院修了とともに法政大学に赴任し、以来、今日までゼミの指導にあたってきました。数えてみればゼミのOB・OGは200名を超えています。

私の研究領域は「組織と情報」に関するものですので、ゼミでも、毎年、これに関連した具体的テーマを設定し、そのテーマについて深く学んでいくことにしています。今年度のゼミのテーマは「ナレッジ・マネジネット」でした。知識の時代が強調される21世紀、知識の活用は企業組織の目的でもあり機能でもあります。ICT(情報通信技術)の活用が当たり前となった今日、ICTの活用を前提としたうえで、知識の組織的な活用能力の向上が企業にとってますます重要な課題となっています。

そもそも岸ゼミで力を入れていることは、知識のインプットとアウトプットです。知識のインプットのために、まず、ゼミで使う教

科書以外にも、何冊かの補足教材を各自読みこむことで、基礎的な専門知識を身につけるよう指導しています。また、このような知識をベースに企業の実際について学ぶために、データベースを活用して具体的な企業事例を調べることで、ゼミに社会人のゲスト・スピーカーを招くこと、企業訪問の機会を設けることなど、さまざまな機会を通じて生きた知識のインプットができるように努めています。

知識のアウトプットのためには、まず、インプットした知識を活かし、自分なりに消化してアウトプットする方法から学んでいきます。発表らしい発表やディスカッションを行えるように発表や議論の方法について学習し、これを毎回のゼミで実践していきます。また、レポートの提出を通じて論理的に書くことも勉強するように心がけています。ゼミでの勉強の集大成である卒業論文の指導は、時間をかけて丁寧に行っています。

ゼミでの学習は、ゼミという組織のナレッジ・マネジネットの実践そのものとしても機能しています。個人で得た知識をゼミにいか

に伝達し、ゼミでいかに共有し、ゼミの知識としていくか、単に言葉にできるもの以外に

もゼミという場に共有される目に見えない知識をどのように活かしていくか、まさに「モノ」から「コト」への変換の重要性を学んでいるといえます。

ゼミのOB・OGは、ゼミでの勉強を活かして、IT業界はもちろん、マスコミ、シンクタンク、大手メーカー、大手建設会社、金融機関、官公庁をはじめ幅広い分野でそれぞれ活躍しています。OB・OGがこのネットワークを相互に活かせるよう、また現役生が社会進出へのアドバ

イスを得られる機会とするよう、ゼミOB・OG会の実施をほぼ毎年行っています。今後このネットワークは大切にしていきたいと思っています。



六大学野球観戦記

三海眞一（昭和四九年卒）

箱根駅伝の予選会が昨日あった。七位で予選通過した。外苑前の駅を降りたらラガーマンの一团に出くわした。秩父宮ラグビー場からは大歓声が聞こえてくる。ワールドカップで桜の戦士が大活躍したことに触発されたにわかファンも多そうだ。神宮球場の中からも大歓声が聞こえてきた。秋季リーグ戦ここまで一位、二位の明治大学と慶應大学が優勝を目指してしのぎを削っているのだ。一塁側スタンドに陣取り、秋晴れの中プレーボールの時を待つ。

二回の裏、先取点は相手から押し出しのフォアボールでプレゼントされた。タイムリーも出てもう一点とり今日は幸先良いじゃないかとじつくりと観戦させて頂く気になる。五回には四番キャプテンのタイムリー二塁打で追加点も取った。続くバッターの痛烈なシュート越えに見えたライナーを早稲田の遊撃手がファインプレーでチェンジとなる。こんな時に試合の流れは変わる。嫌な予感がしてきたぞ。こんな予感はずれるといいんだがなーと思っている間もなく、六回表になんとスリーランホームランを浴び一気に同点とされた。一年生投手菅野君も140キロ半ばのストリートを武器にここまで好投してきた。ランナー二人を出して投手交代だ。継投策裏目で追加点三献上。しかし野球は九回ツーアウトからだ。なんてこともよくあるので諦めないで応援に力がいいる。しかし善戦及ばず四対六で早稲田に勝ち点を取られた。五時前なのに迫り来る夕暮れの中、我が同窓会応援団は居酒屋にて懇親会だが母校敗戦後の懇親会は盛り上がりません。隣席は明治大学OBが首位争いを肴に盛り上がりつついる。来期春季リーグではきつとこの無念を晴らしてくるに違いないと信じて家路に着いた。

会費納入のお願い

「経営学部同窓会」は現在、「一般社団法人 法政大学校友会」に所属しております。法政大学の卒業生の全員が「校友会」に所属していることとなりますが、所属している各同窓会では独自に活動及び組織の運営をおこなっております。「経営学部同窓会」も20年間の歴史のもと、皆さん同窓会員の会費にて活動をおこなってきました。しかし近年の「経営学部同窓会」の活動のための、会費納入率の低下が否めません。「経営学部同窓会」は皆さんの会費にて活動をおこなっており、これからも経営学部同窓会の存続・活動のため、皆さんのご協力及び会費の納入を切にお願いする次第です。

経営学部同窓会会長 岩井 昭

住所変更は必ずご連絡下さい！

個人情報保護法により、OB・OGの皆様の住所が大学から入手できなくなりました。そのため、大学から送られてくる資料内のハガキで変更依頼をしても、同窓会で管理している住所は変わりません。必ず下記のいずれかの方法で同窓会までご連絡ください。

1

電話もしくはファックスにて

同窓会事務局 TEL/FAX 03-5382-9344

2

メールにて

以下のホームページよりメールを送って下さい。
<http://www.houseikeieidousoukai.com/inquiry/>

同窓会のホームページはこちらから・・・。

URL:<http://www.houseikeieidousoukai.com/>

法政大学経営学部同窓会	検索
-------------	----

事務局だより

今井聡学（昭和四九年卒）

経営学部同窓会は今年創設20周年を迎え、記念会報に続きこの度通巻第15号を発行する事となりました。今回の発行に当たりましては、諸先生方を始めとし、学務課、広報委員会、学術ゼミナール他、多数の皆様方より多大なるご協力頂き、心より御礼申し上げます。

今年度より、私、広報担当することになりました。会報やホームページなど多くの方々からお寄せ頂きました原稿を拝読するにつけ、現在の教育内容は実に充実していると思えました。実践を踏まえ、教師と生徒が共に学ぶ姿が推察され、時代の変遷を痛感致しました。

我が大学時代を振り返ると、学生運動の最盛期であり、校内は過激派に占拠されておりました。結果学校はロックアウトされ、1・2年時は、満足な授業も行われず、教師より講義を受けるのみで、多くの学生は、単位の取得を目的に学び、社会へ輩出されたものと思われま す。さて、経営学部同窓会は、母校発展のため、会員相互のコミュニケーションを図り、会の充実・発展のため、様々な企画を考案していきたくと思っております。

つきましては、会員の皆様方より、学生時代の思い出、社会人体験談、心に残る人との出会い、地域活性活動、母校への思い等、原稿用紙800字前後の寄稿文を、事務局へお寄せ下さい。

引き続き経営学部同窓会へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新校舎名称は「富士見ゲート」となりました。

編集後記

中西文行（昭和五三年卒）

「ええ、また会報作成ですか、本当ですか」が私の第一声です。今年から同窓会通信が同窓会会報と名称をかえ、同窓会創設20周年の記念会報なので大幅に増ページし、苦心の末についこないだ創刊号を発行したばかり。従来の同窓会通信は少数精鋭の同窓会スタッフで、年1回の同窓会総会の開催に合わせるようなペースで発行されてきたのですから、「大丈夫なのか」と正直驚きました。現在のスタッフには、定年前の会社員や自営の人もいる中で、岩井会長を筆頭に執行部の機関決定で、年内第2号の発行が決まったのです。新たな「挑戦の始まり」ですが、まあ、創刊号の作成でスタッフ一同おおよその手順を学習しましたので、企画、編集、校正などスムーズに運べたのは大きな収穫でした。

今号の編集方針は、創刊号とは異なり、いまの大学、経営学部の現状、先生や現役生のゼミナール活動の紹介などに重点を置きました。会報作成のための同窓会予算の制約もあり、限られた紙面の中で、先生方や学生諸子にも経営学部同窓会に関心をもっていただきたい、できればいずれ入会してほしいとの狙いもあります。

経営学部同窓会の発展のためには、私たちOBだけでは限界があると感じます。広く先生方のサポートと次代を担う現役生の協力が不可欠だと思えます。「オール法政」で取り組む会報作成を目指すため、今号はこの記事構成となりました。OBの方々には、もっとOB、学友の動静を取り上げてほしいなど多少不満があるかも知れませんが、次号以降に期待していただきたいと思います。

この度は、私自身の著述家としての仕事が増え、築約40年の自宅の建て替えで引っ越したこともあり母校が遠くなり、正直あまり力になれませんでしたが、その中、遠路から手弁当で駆け付ける意気軒昂な同窓会スタッフの尽力により、めでたくも立派な第2号が発行できたことに多々感謝です。今も昔も社会は喧騒に満ち、時に殺伐としています。経営学部同窓会が「長者の万灯より貧者の一灯」のような会員諸氏の「心のオアシス」となるべく、今後も読んで楽しい会報発行のため、関係する皆様方のご支援、ご協力を切にお願いいたします。

今後の行事予定

（詳細は経営学部同窓会HPに掲載）

経営学部教授会との懇親会	平成28年1月22日（金）
経営学部卒業生成績優秀者表彰	平成28年3月24日（木）

法政大学経営学部同窓会 2015 年定期総会

2015年度法政大学経営学部同窓会総会・記念講演会・懇親会が、2015年7月19日(日)に法政大学市ヶ谷キャンパス内ボアソナードタワー26階にて開催されました。

以下その報告です。

- 1) 定期総会 会場:ボアソナードタワー26階会議室A
定刻の13時に山口 副幹事長の司会・進行により開会が宣言されました。
議事進行前に総会出席者全員(来賓者6名、会員40名超)による、物故会員への黙祷が捧げられました。
つづいて、経営学部同窓会 岩井 会長、経営学部 竹内学部長よりご挨拶をいただきました。その後、同窓会総会の御来賓のご紹介並びに、一般社団法人法政大学校友会 桑野 会長にご挨拶をいただき、議長に岩井 会長、書記に事務局の杉山 氏を選任して、議事の進行に移りました。

第1号議案 2014年度事業報告及び決算承認の件

第1号議案は、①2014年度事業報告について三海 副会長、②2014年度決算及び③剰余金の処理について倉林 事務局長より「資料1」(経営学部同窓会報等)に基づき報告がなされました。つづいて、飯塚監事より、今期の当該法人の業務の執行及び財産の状況について、適正である旨の監査報告がなされ、その後、採決を行い、賛成多数の拍手により、上程どおり承認されました。

第2号議案 2015年度事業計画案及び予算案承認の件

第2号議案は、①2015年度事業報告について三海 副会長、②2015年度会計予算書(案)については、倉林 事務局長より「資料1」(経営学部同窓会報等)に基づき報告がなされました。その後、採決を行い、賛成多数の拍手により、上程どおり承認されました。

第3号議案 会則の改定承認の件

第3号議案は、会則の改定について合間 副幹事長より「資料2」に基づき、改定箇所5か所について報告がなされました。その後、採決を行い、賛成多数の拍手により、上程どおり承認されました。

第4号議案 2015年度役員選任承認の件

第4号議案は、2015年度役員構成(案)について倉林 事務局長より「資料3」に基づき、報告がなされました。その後、採決を行い、賛成多数の拍手により、上程どおり承認されました。今回、総会に出席している、新任役員の紹介も実施いたしました。

上記にて全ての議事は決議され、岩井 議長より13時45分に閉会宣言があり、三海 副会長による閉会の挨拶をもって、2015年法政大学経営学部同窓会総会は無事に終了いたしました。

- 2) 20周年記念講演会 会場:ボアソナードタワー26階スカイホール
14時より会場をボアソナードタワー26階スカイホールに移し、20周年記念講演会が実施されました。三海 副会長の司会・進行により開会が宣言され、はじめに、河端 顧問・二代会長より開会のご挨拶をいただきました。
今回は20周年の記念講演会ということもあり、清成 名誉教授・元総長と竹内 経営学部長のお二方による計二回ご講演となりました。清成 名誉教授・元総長には「わが経営学部の挑戦に期待する」をテーマに講演いただきました。
大学激動の時代に大学改革を実施された先生ならではのエピソードは、大変興味深いものでした。
つづいて、竹内 経営学部長より「マーケティングの新潮流:リレーションシップのマネジメント」をテーマに講演をいただきました。講演会には、100名以上のご参加をいただき、お二方で約1時間の講演でしたが、大変盛況な中で終了することができました。

- 3) 懇親会 会場:ボアソナードタワー26階ラウンジ
引き続き15時15分よりボアソナードタワー 26階ラウンジに会場を移し、来賓者を交え、合間副幹事長の司会・進行にて懇親会を開催しました。はじめに、鈴木 顧問・前会長により開会のご挨拶をいただきました。つづいて、来賓の岡田 名誉教授・元学部長のご挨拶、並びに神谷 法政大学常務理事のご挨拶・乾杯のご発声をいただきました。皆さま和気あいあい歓談されており、恩師を囲んで大学時代について皆なつかしく語られていました。懇親会には、80名以上のご参加をいただき、本当にありがとうございました。最後には、法政大学応援団リーダー部のもと、法政大学校歌を全員で声高らかに唱和し、16時30分に2015年度経営学部同窓会総会、記念講演会並びに懇親会の全てのスケジュールを終了いたしました。